Panasonic

CWFT21LA　CWFT21LR（1）
CWFT21SA　CWFT21SR（1）

室内物干しユニット ホシ姫サマ 施工説明書

施工店様へ

このたびは当製品をご採用いただきありがとうございました。
■施工は必ずこの「施工説明書」にしたがって正しく施工してください。
■当製品の施工には電気工事士の資格が必要です。
■「取扱説明書」は必ず施主様にお渡しください。

※品番末尾の「1」は隣接仕様を示します。

安全に関するご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。
■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。	⚠注意	この表示の欄は、「損害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ 禁止 のマークはしてはいけない「禁止」の内容を説明しています。

⚠警告

禁止

■商品の改造・仕様変更は絶対にしないでください。
※火災、感電、ケガや事故、故障の原因となります。
■交流100V以外では使用しないください。
※火災、感電、ケガや事故、故障の原因となります。
■VVFケーブルの結線時に、速結端子に確実に差し込んでください。
※火災の原因となります。

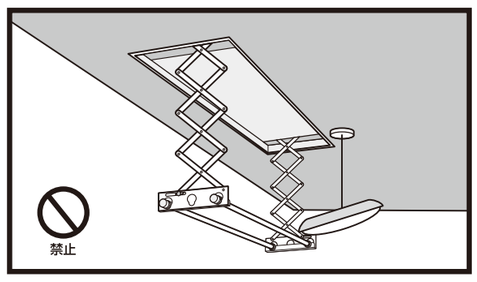
⚠注意

必ず守る

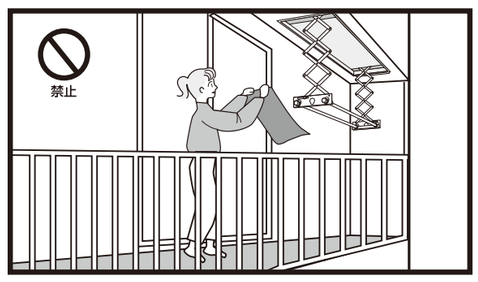
■本体は十分強度のあるところに確実に取り付けてください。
※落下によるケガの原因となります。

施工時の注意事項 施工前に必ずお読みください。

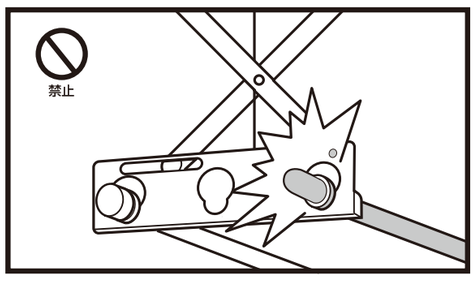
●照明器具や火災報知器の近くに物干しユニットを取り付けることは避けてください。
※落下によるケガ、熱による火災の原因になります。



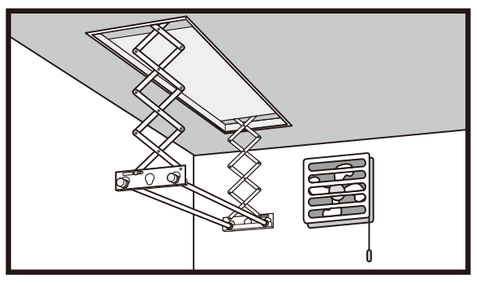
●テラス等屋外や浴室内には、取り付けないでください。
※故障の原因となります。



●竿は当社専用の竿をご使用ください。
※トラブルの原因となります。



●物干しユニットを取り付ける場所に除湿機（換気扇等）を取り付けてください。



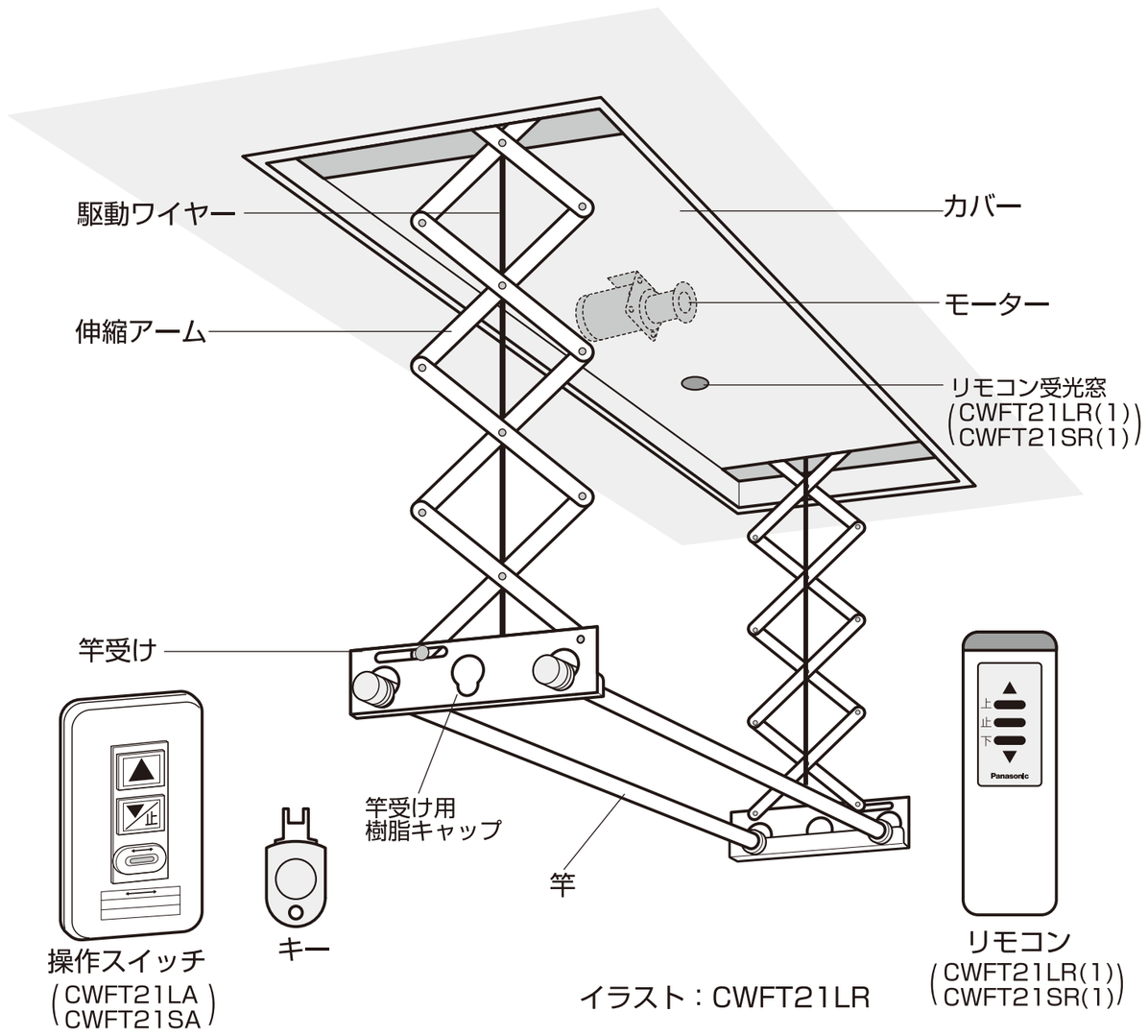
●勾配天井に取り付けできません。
※故障の原因となります。

梱包内容

名称	数量	内容
本体	1セット	駆動部 伸縮アーム 竿受け カバー取付用ねじ（4本）
カバー	1	カバー
竿	2本	伸縮式
同梱部品	1セット	本体固定用木ねじ（なべワッシャーねじ4×30）…… 10本（仮固定用－4本、本固定用－6本） 操作スイッチ（CWFT21LA、CWFT21SA）…1セット（キー付き） リモコン（CWFT21LR(1)、CWFT21SR(1)）…1セット（単3乾電池×2本付き） 竿受け用樹脂キャップ…… 2
説明書	1セット	施主様用　取扱説明書（保証書付）
		施工業者用　施工説明書

各部なまえ・寸法図・配線図

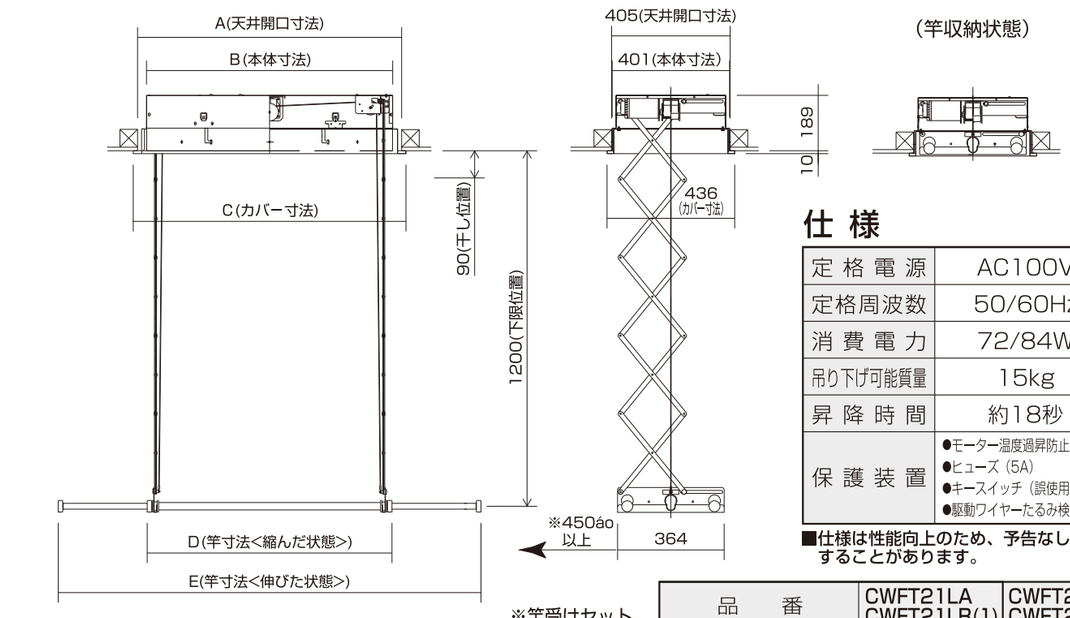
■セット完成図



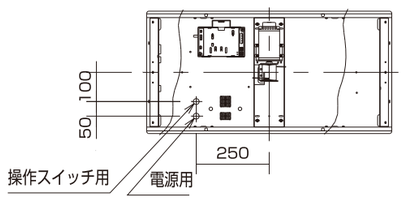
イラスト：CWFT21LR

■寸法図・仕様 単位/mm

※標準仕様と隣接仕様は、本体とリモコンをセットでご使用ください。



※竿受けセットを取り付ける際は、壁と間隔を取ってください



※本体下からみた所

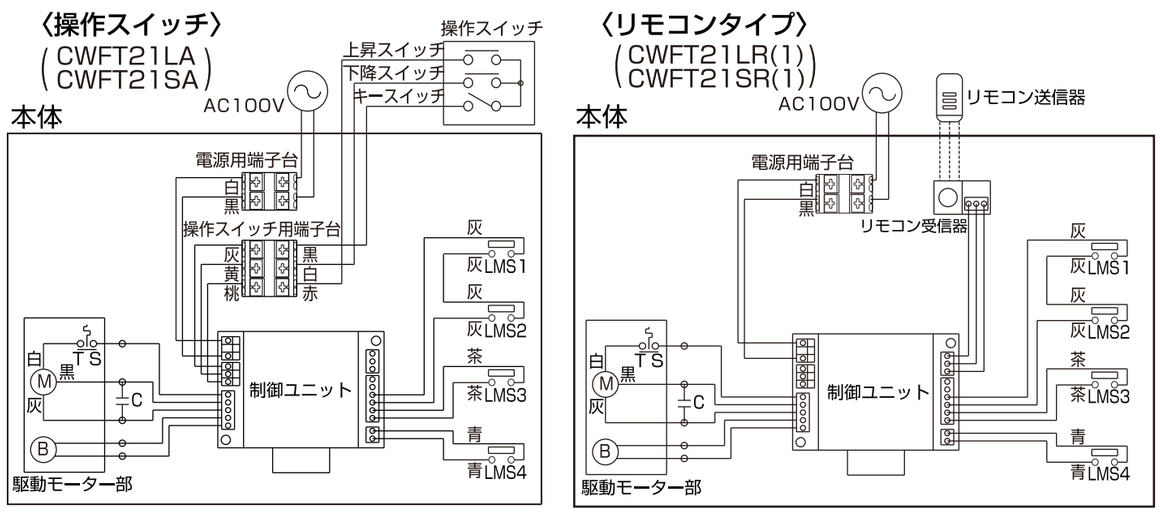
仕様

定格電源	AC100V
定格周波数	50/60Hz
消費電力	72/84W
吊り下げ可能質量	15kg
昇降時間	約18秒
保護装置	●モーター温度過昇防止装置 ●ヒューズ（5A） ●キースイッチ（誤使用防止用） ●駆動ワイヤーたるみ検知装置

■仕様は性能向上のため、予告なしに変更することがあります。

品番	CWFT21LA CWFT21LR(1)	CWFT21SA CWFT21SR(1)
A：天井開口寸法	1502	902
B：本体寸法	1441	841
C：カバー寸法	1532	932
D：竿寸法(縮んだ状態)	1436	836
E：竿寸法(伸びた状態)	2208	1470mm
本体質量	20kg	15kg

■配線図



LMS１：たるみ検知用リミットスイッチ
LMS２：たるみ検知用リミットスイッチ
LMS３：上限検知用リミットスイッチ
LMS４：干し位置検知用リミットスイッチ

取付作業手順

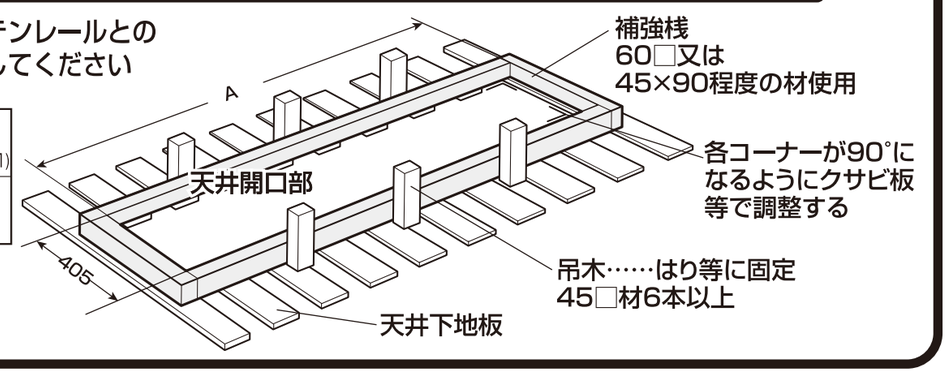
1 準備作業（補強桟の取付け）

■ 本体取り付け天井位置に開口部を設け、周囲に補強桟を取り付ける (単位/mm)

⚠警告 **目安として150kgの最大荷重に耐える補強桟を確実に施工してください。**
※落下してケガや事故の原因となります。

注意 壁面やカーテンレールとの距離を確保してください

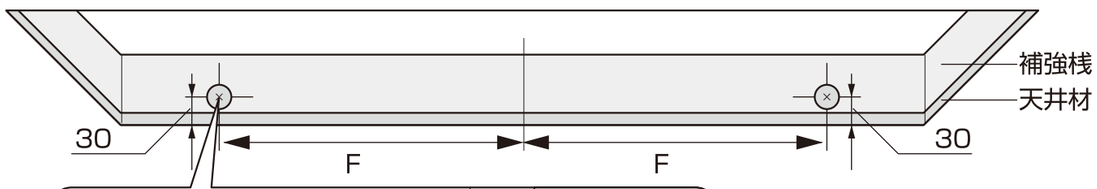
	CWFT21LA CWFT21LR(1)	CWFT21SA CWFT21SR(1)
A寸法	1502	902

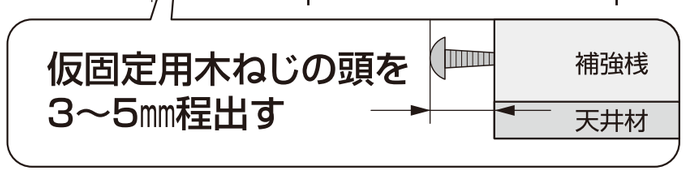


2 収納箱の取付固定

■ 本体を補強桟に取り付ける

1 開口に本体仮固定用木ねじ4本を打つ (単位/mm)





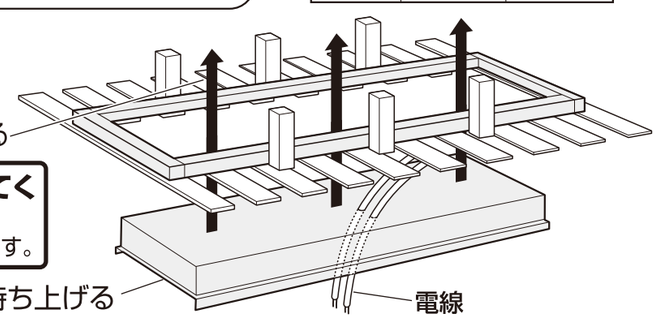
	CWFT21LA CWFT21LR(1)	CWFT21SA CWFT21SR(1)
F寸法	500	200

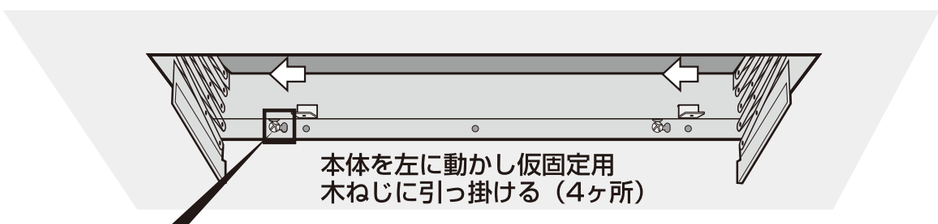
2 本体を補強桟に仮固定する

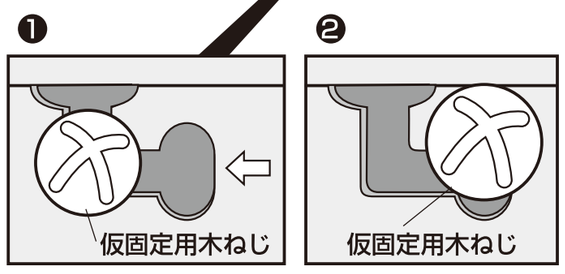
本体を天井開口部に室内側より差し入れる

⚠注意 **仮固定用木ねじに注意してください。**
※本体にキズがつく原因となります。

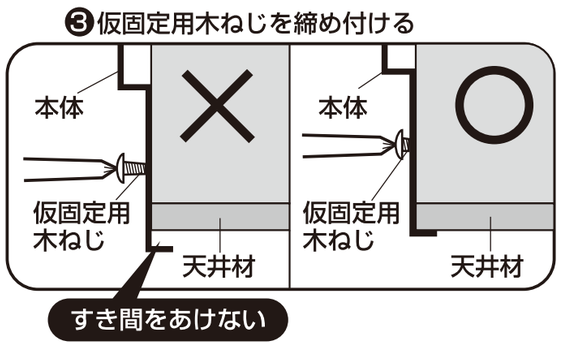
天井にこの部分が当たるまで本体を持ち上げる





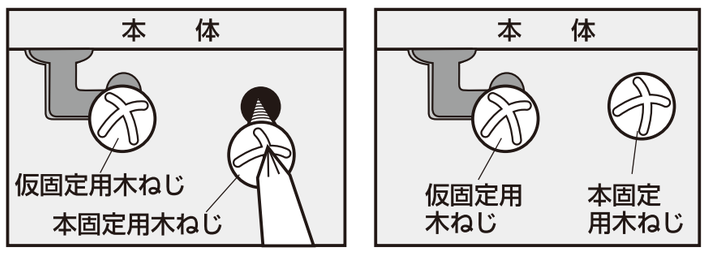


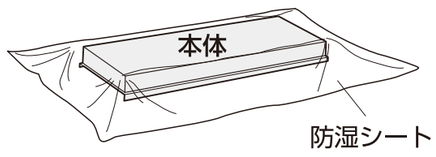
❸仮固定用木ねじを締め付ける



3 本体を補強桟に本固定する

❶本体固定用木ねじを締める(6ヶ所) ❷本固定の状態





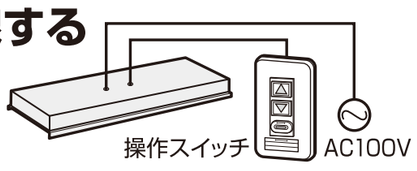
注意 断熱材（特に吹き込み断熱材）を施工する場合は、必ず本体を防湿シートで覆ってください。

3 配　線（電気工事店にご依頼ください。）

注意 リモコンタイプの場合は、操作スイッチへの配線は不要です。

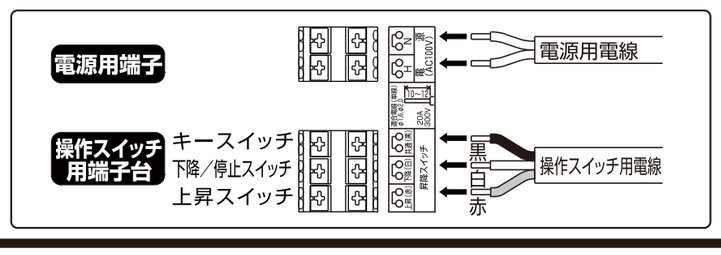
■ 操作スイッチ及びAC100Vに結線する

本体天面の配線引き込み穴より電源用電線（VVFφ1.6mm 2芯）・操作スイッチ用電線（VVFφ1.6mm3芯）を引き込み各々端子台に下図のように結線してください。

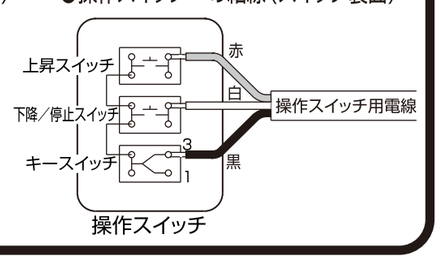


■ 本体及び操作スイッチへの結線

●端子台への結線（本体内側）

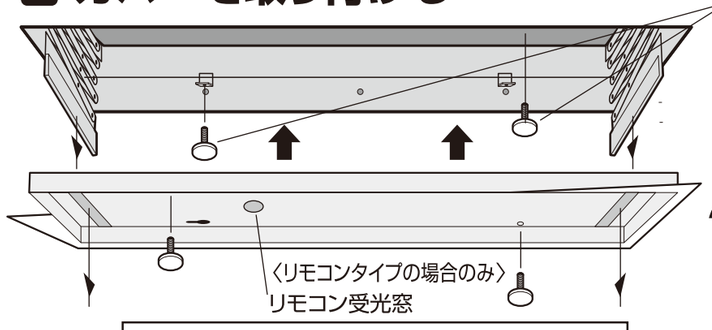


●操作スイッチへの結線（スイッチ裏面）



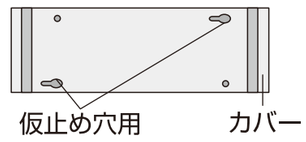
4 カバーの取付け

■ カバーを取り付ける

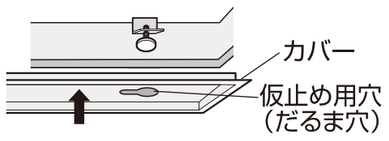


注意 リモコン受光部と位置を合わせて取付けてください。動かなくなります。

1 本体にカバー取付用ねじ2本（仮止め用穴）を取り付ける。



2 カバーをそのねじに差し込んで動く方へずらす。（仮止めの状態）



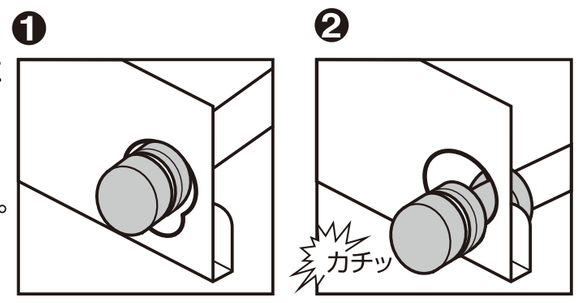
3 全てのねじ（4本）を締める。（本止め）

5 竿の取付け

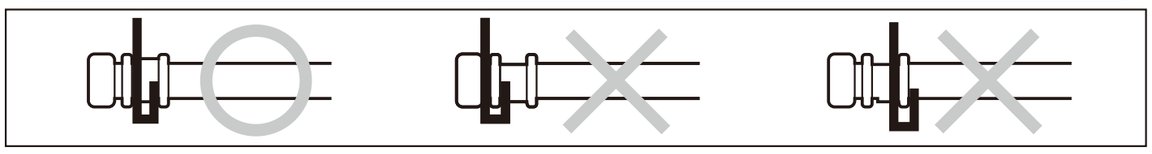
■ 竿を取り付ける

1 操作スイッチのキースイッチを 入 にして下降スイッチを押し、竿受けを竿の取付けやすい位置まで下降させて下さい。
※下降ボタンを1回押すと自動で下降します。再度、ボタンを押すと停止します。

2 竿を右記の図のように、竿受けに取り付ける。

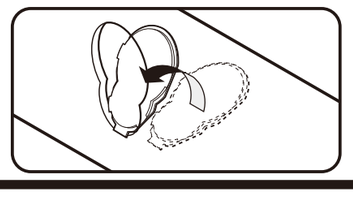


⚠警告 **竿は竿受けに正確に取り付けてください。** ※落下してケガの原因となります。



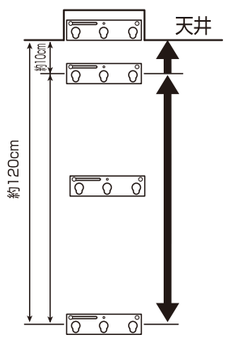
3 竿受け中央の穴に、竿受け用樹脂キャップを装着する。

※ 竿受けの内側から、樹脂キャップの下側を合わせて押し込む



6 試　運　転

動作説明



収納位置……竿を収納する位置

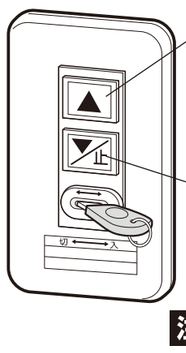
干し位置……洗濯物を干して、乾かす位置

使用位置……洗濯物をかけたり、取り込んだりする位置
※商品出荷時は設定していません。
※作業し易い高さに任意に設定可能（施主様にて実施）

竿の最下降位置

■操作スイッチで操作する場合

※キースイッチを「入」の状態で操作してください



上昇ボタン
・押している間だけ竿が上がります。
・上昇時、「干し位置」で一度止まります。竿の両端が縮んでいるのを確認してもう一度スイッチを押して収納します。

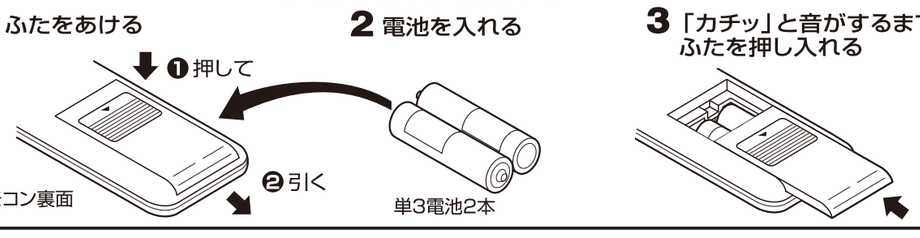
下降/停止ボタン
・一度押すと「竿の最下降位置」まで指を離しても竿が下がります。
・竿が下降中に押すと止まります。

注意 キーは必ず施主様に渡してください

■リモコンで操作する場合

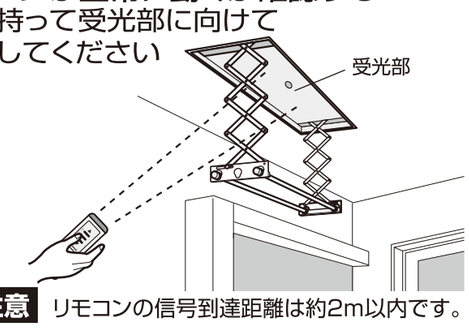
リモコンに電池を入れる リモコンに、電池（マンガン乾電池単3×2本）を図のように入れてください。

1 ふたをあける　**2** 電池を入れる　**3** 「カチッ」と音がするまで、ふたを押し入れる

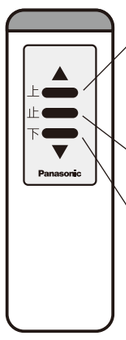


■リモコンが正常に動くか確認する

手に持って受光部に向けて操作してください



注意 リモコンの信号到達距離は約2m以内です。



上昇ボタン
・押している間だけ竿が上がります。
・上昇時、「干し位置」で一度止まります。竿の両端が縮んでいるのを確認してもう一度スイッチを押して収納します。

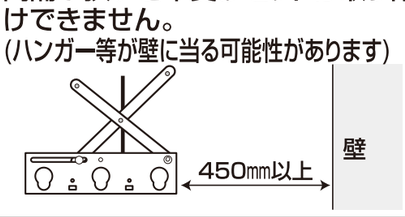
停止ボタン
・竿が下降中に押すと止まります。

下降ボタン
・一度押すと「竿の最下降位置」まで指を離しても、竿が下がります。

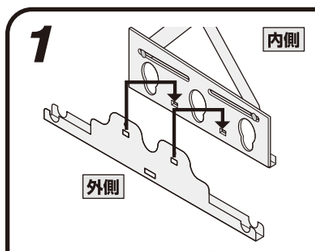
オプション

■竿受けセットの取付け

注意 竿受けセットを取り付ける際は、壁との間隔を確認してください。
間隔が狭いと竿受けセットは取り付けできません。
(ハンガー等が壁に当る可能性があります)

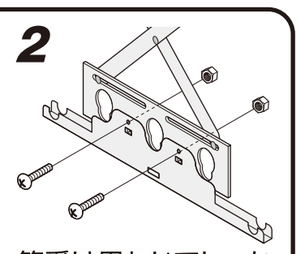


1



竿を外し、竿受けを本体竿受けの外側より引っかける

2



竿受け用ねじでしっかり固定し、竿を取り付ける

パナソニック株式会社　建築システムビジネスユニット
〒571－8686 大阪府門真市大字門真1048番地

© Panasonic Corporation 2018

YC-1P／K1218-0